

令和6年度土地家屋調査士試験筆記試験（記述式問題）の出題の趣旨

本年度の土地家屋調査士試験筆記試験の記述式問題は、以下の事項に関する知識及び能力を試すための出題です。

○ 午前部

【第11問】

- 問1 夾角及び距離から座標値を求める計算の基本的知識を問うもの
- 問2 座標値から夾角及び距離を求める計算の基本的知識を問うもの
- 問3 三角形の面積と2辺の夾角から座標値を求める計算の基本的知識を問うもの
- 問4 座標法による面積計算の基本的知識を問うもの
- 問5 図面の正確な作成を求めるもの

○ 午後部

【第21問】

- 問1 土地の筆界についての基本的な知識及び理解に基づき、問題文に記載された事実関係及び資料から、本問の筆界線の判断のための的確な資料、申請人及び申請すべき登記手続の内容（土地の分筆の登記）を問うもの
- 問2 問題文に記載された事実関係及び資料から、与えられた座標値を用いてB点、D点及びP点の座標値を求める計算の基本的知識を問うもの
- 問3 問1で検討した事項、問題文に記載された事実関係及び資料から、土地の筆界の位置及び依頼人の依頼内容を的確に把握した上で、申請すべき登記の内容（土地の分筆の登記）を正確に読み取ることを求めるとともに、その申請情報及び添付情報の内容並びに登録免許税の額についての正確な知識及び理解を問うもの
- 問4 問題文に記載された事実関係及び資料から、問3の登記の申請書に添付する地積測量図の正確な作成（図形の正確な描画を含む。）を求めるもの
- 問5 地図に準ずる図面に誤りがあった場合にする当該図面の訂正の申出について、その申出をする権限がある者を問うとともに、当該申出の権限がない者から当該申出があった場合における登記官の取扱いや地図に準ずる図面に表示された土地の位置又は形状に誤りがある場合における地図訂正申出情報と併せて提供する情報の内容についての正確な知識及び理解を問うもの

【第 2 2 問】

- 問 1 建物の表題登記の申請をする場合における所有権を証する情報についての正確な知識及び理解を問うもの
- 問 2 問題文に記載された事実関係、資料及び依頼人の依頼内容から、申請すべき登記の内容（建物の表題登記）を的確に読み取ることを求めるとともに、その申請情報及び添付情報について、正確な知識及び理解を問うもの
- 問 3 問題文に記載された事実関係及び資料から、床面積の算入の可否についての正確な知識及び理解を前提として、問 2 の登記の申請書に添付する建物図面及び各階平面図の正確な作成（図形の正確な描画を含む。）を求めるもの
- 問 4 問題文に記載された事実関係及び資料から、本件建物の（あ）部分が建物として認定されるかについての正確な知識及び理解を問うもの